

事業報告

碧南市社会福祉協議会は、地域福祉の第一線機関として地域住民から大きく期待されており、社会情勢の変化に柔軟に対応し、「だれもが、安心して暮らせるまち碧南」を目指し、事業を展開してまいりました。

地域福祉活動事業では、小・中・高等学校での福祉実践教室の開催、ボランティア団体への支援の他、へきなん地域福祉ハッピープラン（第3次碧南市地域福祉計画）に基づき、「ふだんの くらしの しあわせ」の実現を目指して、市内6地区で地域福祉推進会議を開催し、地域の福祉課題・生活問題の共有やそれら課題の解決のための協議の場を提供しました。

資金貸付事業では、低所得者に対し自立更生のための資金や生活費、緊急一時的資金の貸付けを通して支援するために、生活福祉資金貸付事業、くらし資金貸付事業や愛の援護資金貸付事業を推進しました。

福祉・介護サービス事業では、日常生活を営むのに支障のある方々を訪問し支援するホームヘルパー派遣事業を運営しました。

保育園運営事業では、「子どもの笑顔、親の安心」をキャッチフレーズに、子どもには楽しい場所、親には頼れる場所を目指し、5つの保育園を運営しました。乳児保育や長時間保育の要望が増大し、早朝長時間の保育士確保が引き続き課題となっています。また、荒子保育園、西端保育園、棚尾保育園において子育て支援センターを設置し、地域の子育ての拠点となるよう事業展開をしました。

地域福祉サービスセンター事業では、障害児者の総合的な相談窓口である基幹相談支援センター事業や相談支援事業の推進、障害者の就労を支援するための障害者就労相談支援事業の推進、生活保護世帯の就労を支援するための被保護者就労支援等事業の推進、生活困窮者の自立を包括的に支援するための生活困窮者自立支援事業の推進、日常的な金銭管

理を支援するための日常生活自立支援事業の推進や、判断能力が不十分な方々の権利擁護のための碧南市成年後見支援センターを運営しました。

地域包括支援センター事業では、社協及び東部地域包括支援センターの2ヶ所と西端出張所を開設し、家庭訪問を中心としたきめ細やかな相談支援体制で、地域住民が安心して地域で暮らせるよう支援しました。

その他、赤い羽根共同募金による在宅重度心身障害者（児）等への慰問金の配布、赤十字奉仕団を中心とした赤十字活動等、きめ細かな事業を実施しました。さらに、単身高齢者の交流を支援するふれあい・いきいきサロンの開催や、障害者や高齢者等の日常生活の利便を図るため、車いす及び福祉車輛の貸出事業を継続して実施しました。

また、福祉の拠点施設であるへきなん福祉センターあいくるの管理委託を始め、心身障害者福祉センター、児童クラブ、児童センター及びこどもプラザの指定管理による運営を継続し、子育て支援と障害者福祉の向上に努めました。

主　要　成　果

1 法人運営事業

(1) 法人運営事業

社会福祉協議会会員募集

社会福祉協議会会員を募集し、地域住民から多大なご協力をいただきました。

	令和5年度		令和6年度	
個人会員(500円)	1, 142口	571, 000円	1, 044口	522, 000円
法人会員(3, 000円)	17法人	160, 000円	19法人	151, 000円
合 計		731, 000円		673, 000円

(2) 社会福祉積立金事業

これまでに積み立てた社会福祉基金から生じた利息を、福祉のまちづくり事業等社会福祉協議会の地域福祉事業で活用しました。

ア 令和6年度末積立金 435, 490, 175円

イ 令和6年度利息額 782, 179円

(3) 企画・広報事業

「社協だより」の発行

年3回（7月、11月、3月）広報へきなんの折り込みにより全戸配布し、社会福祉協議会の事業を市民にお知らせしました。

ア 7月1日号

令和5年度決算・令和6年度予算、夏休み中高生ボランティア体験教室のご紹介、令和5年度地域福祉活動の取り組みご紹介、赤い羽根共同募金の使い道のご紹介、能登半島地震被災地支援のご報告、成年後見支援センター講演会のご案内、大浜中区わがまち探検まなぼうさいのご報告、職員の募集など

イ 11月1日号

赤い羽根共同募金ご協力のお願い、赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール結果発表、ほっとまんまカフェのご案内、地域包括支援センターより消費者被害・高齢者虐待防止のご案内、障がい者のつどい、心身障害者福祉センターデイサービス、防災リーダー養成講座のご案内、ファミリー・サポート・センター協力会員の募集、

職員の募集など

ウ 3月1日号

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金実績・社会福祉事業功労者のご報告、地域包括支援センターより活動のご紹介、ボランティア活動保険のご案内、生活困窮者自立支援制度のご案内、ボランティアのつどい開催のご案内、成年後見制度休日相談会のご案内、心身障害者福祉センターデイサービスのご紹介、職員の募集など

2 地域福祉活動事業

(1) 福祉のまちづくり事業

ア 福祉実践教室の開催

開催月日	学校名	対象学年	内容（体験学習）	参加人数
5月27日	西端中学校	1年生	車いす、手話、点字、視覚障害者ガイドヘルプ	59人
5月29日	東中学校	1年生	車いす、手話、要約筆記、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験	172人
6月1日	中央中学校	1年生	車いす、手話、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験	184人
6月10日	新川中学校	1年生	車いす、手話、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、講話（知的障害について）高齢者擬似体験	109人
6月18日	西端小学校	5年生	車いす、視覚障害者ガイドヘルプ	130人
6月25日	南中学校	1年生	車いす、手話、要約筆記、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験	204人
9月26日	棚尾小学校	5年生	車いす、手話、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者疑似体験	174人
9月27日	鷺塚小学校	5年生	車いす、手話、点字、視覚障害者ガイドヘルプ	107人
9月30日	碧南高校	1年生	講話（発達障害について）	301人
10月2日	中央小学校	5年生	車いす、手話、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者疑似体験	85人
10月28日	日進小学校	5年生	車いす、手話、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験	90人

11月8日	大浜小学校	5年生	車いす、手話、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験	62人
12月3日	新川小学校	5年生	車いす、手話、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験	246人
12月16日	碧南工科高等学校	1年生	講話（身体・視覚障害について）	181人
合 計				2,104人

イ 福祉協力指定校の活動助成事業

小学校、中学校、高等学校の児童・生徒を対象として、社会福祉の理解と関心を高め、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図るため、福祉協力校を指定し、福祉の向上を図りました。

指定校 全小学校（7校）、全中学校（5校）、高等学校（2校）

ウ 市民啓発推進事業

5地区公民館の事業活動に対して助成をし、地域における福祉事業の啓発とふれあいの場を提供しました。

(2) 地域福祉活動事業

ア 地域福祉推進会議

令和3年度から令和8年度までを計画期間とした「へきなん地域福祉ハッピーブラン（第3次碧南市地域福祉計画）」を推進し、地域共生社会の実現に向けた“支えあうことのできる地域づくり”を実現するため、市内6地区（新川、中央、大浜、棚尾、旭、西端）において地域福祉推進会議を開催し、連絡委員を始めとする地域住民の代表者、老人クラブや民生委員など福祉に関わる各団体、教育関係者等に幅広く集まつていただき、皆さんで福祉に係る地域課題の共有や問題の検討を行いました。

イ 福祉親善ゲートボール大会

6月16日（日） 碧南市臨海公園ドーム 6チーム 35人参加

(3) ボランティア活動事業

ア ボランティア連絡協議会推進事業

ボランティア団体の代表者会議を定例的に行い、計画的自主活動の推進と相互協力等話し合いの場を作り、更に自主活動に対する援助を推進しました。令和6年度

は定例会及び役員会を毎月開催し、年度末加入団体は10団体でした。

また、ボランティア連絡協議会の主催により、7月末から8月初めに夏休み中高生ボランティア体験教室を3日間開催しました。市内の10保育園を会場とした保育体験に70名の中高生が参加しました。

イ ボランティア養成講座の開催

下記のボランティア講座を開催し、ボランティア活動に関心を持つ方の発掘と育成指導を行い、ボランティア活動の理解を高め、活動への参加と促進を図りました。

防災リーダー養成講座

11月23日（土）、12月4日（水）開催 参加者 13人

3 共同募金配分金事業

(1) 共同募金運動の推進

碧南市共同募金委員会の実施計画に沿って、戸別募金活動、法人募金活動をはじめ一般市民の理解と協力により、共同募金運動を推進することができました。

年度	目標額	実績額	うち一般募金 実績額	うち歳末たすけ あい募金実績額
令和5年度	9,500,000円	9,903,637円	7,305,994円	2,597,643円
令和6年度	9,500,000円	7,537,151円	6,325,333円	1,211,818円

(2) 一般募金配分金事業

ア ふれあい・いきいきサロン

5月、7月、9月、11月、1月の5回にわたり、6地区の公民館などで、ひとり暮らしの高齢者の交流の場として、ふれあい・いきいきサロンを実施しました。

開催回数 30回 参加者 延べ865人

イ 高齢者慰問事業

敬老の日を中心に市内の99歳以上の高齢者を慰問し、長寿を祝うとともに心のふれあい事業を行いました。

慰問高齢者 80人

ウ 乳酸菌飲料宅配サービス事業

75歳以上の単身高齢者等に対して乳酸菌飲料を週3本宅配サービスすることにより、安否確認、日常生活の実態把握及び健康増進を図りました。

乳酸菌飲料宅配サービス利用者 223人

エ 車いす貸出事業

一時的に車いすを必要とする方に貸し出しを行い、外出の機会増加や負担軽減を支援しました。

貸出件数 389件

オ 車いす専用車「ふれあい号」の貸出事業

車いすを必要とする障害者、高齢者及びその家族等に「ふれあい号」を貸し出すことで通院や家族旅行など日常生活の利便を図りました。

利用状況

- | | |
|-----------------------|------|
| (ア) ふれあいⅠ号（軽自動車3人乗り） | 153件 |
| (イ) ふれあいⅡ号（軽自動車3人乗り） | 113件 |
| (ウ) ふれあいⅢ号（普通自動車3人乗り） | 105件 |

カ 私立保育園等への助成

市内私立保育園及びこども園に対し、絵本・玩具の購入に充てるための助成を行いました。

キ 小・中学校入進学児童生徒激励事業

ひとり親家庭等の入学・進学者に対し、図書券（3,000円分）を贈り、一時支出金の援助をしました。また、ひとり親家庭等交流事業に対し助成を行い、児童・生徒の激励と自立を応援しました。

(ア) 小学校 入学児童21人

(イ) 中学校 進学生徒52人

(3) 歳末たすけあい配分金事業

次の方々に慰問金を配布しました。

対象者	人数（施設数）	配分額
施設等入所者 〃 通所者	204人 15施設	476,000円
在宅重度心身障害者（児）	284人	852,000円
人工肛門造設者	11人	33,000円
準要保護世帯児	213人	639,000円
交通遺児	0人	0円

4 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会の業務を取扱い、民生委員児童委員の協力を得て自立更生の必要な世帯に対して、経済的援助として資金の活用を図りました。また、生活困窮者自立支援制度と連携し、効果的な支援に努めました。

ア 新規貸付取扱い

(ア) 生活福祉資金

4件 1, 573, 000円

(イ) 不動産担保型

0件

イ 貸付継続取扱い（特例貸付を除く）

36件 28, 964, 999円

(2) くらし資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会からの借入原資により、低所得世帯に対する緊急一時貸付を実施できる体制を整備しました。

ア 新規貸付取扱い

0件

イ 貸付継続取扱い

0件

ウ 償還完了

0件

(3) 愛の援護資金貸付事業

低所得世帯の生活費の一時貸付事業を行いました。

ア 新規貸付取扱い

1件 60, 000円

イ 不能欠損処理

0件

ウ 貸付継続取扱い（令和6年度末）

15件 660, 000円

エ 償還完了件数

5件

5 福祉・介護サービス事業

訪問介護事業・障害福祉サービス事業

日常生活を営むことに支障のある高齢者や身体障害者の家庭等の家事援助・身体介護など、個別援助計画に基づきホームヘルプサービスを実施しました。また、早朝（午前7時から）及び夜間（午後9時まで）の派遣サービス並びに土曜日、日曜日、祝日等の休日派遣サービスを実施しました。

(1) ヘルパー職員数

常勤	パート	登録	合計
1人	3人	17人	21人

(2) 年間活動実績

ア 訪問介護分（全て延べ人数・回数・時間）

利用人数	派遣回数	派遣時間数				合計
		身体介護	生活援助	身体・生活	介護予防	
492人	5232回	1537.0H	558.3H	1110.0H	1600.0H	4805.3H

イ 障害福祉サービス分（全て延べ人数・回数・時間）

(ア) 身体障害

居宅介護			移動支援		
利用人数	派遣回数	派遣時間	利用人数	派遣回数	派遣時間
99人	3664回	3064.9H	37人	104回	154.5H

(イ) 知的障害

居宅介護			移動支援		
利用人数	派遣回数	派遣時間	利用人数	派遣回数	派遣時間
87人	545回	598.0H	34人	79回	219.0H

(ウ) 精神障害

居宅介護			移動支援		
利用人数	派遣回数	派遣時間	利用人数	派遣回数	派遣時間
105人	1183回	959.8H	19人	47回	102.5H

6 保育園運営事業

「子どもの笑顔、親の安心」をキヤッチフレーズに、“子どもには楽しい場所” “親には頼れる場所”を目指し、地域の子育ての拠点となるよう運営しました。

(1) 保育所運営

ア 荒子保育園各月初日在籍児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	2	3	3	4	5	6	6	5	5	5	5	5	54
1歳	7	8	8	8	8	9	10	10	10	10	10	10	108
2歳	15	16	16	17	17	16	17	17	17	17	17	17	199
3歳	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
4歳	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	27	27	334
5歳	32	32	32	32	32	32	32	31	32	32	32	32	383
合計	113	116	116	118	119	120	122	120	121	121	120	120	1426

イ 西端保育園各月初日在籍児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	0	0	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	27
1歳	16	18	19	19	19	20	19	18	18	18	18	18	220
2歳	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	23	286
3歳	30	30	30	30	30	29	29	28	28	28	28	28	348
4歳	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384
5歳	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384
合計	134	136	139	139	139	140	139	137	137	137	136	136	1649

ウ 大浜保育園各月初日在籍児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	2	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	65
1歳	13	13	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	172
2歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	214
3歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	28	356
4歳	31	31	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	362
5歳	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
合計	124	125	129	129	129	129	129	129	128	127	126	125	1529

エ 棚尾保育園各月初日在籍児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	26
1歳	15	16	17	19	20	19	19	19	19	19	19	18	219
2歳	24	24	24	24	23	23	23	23	23	23	23	22	279
3歳	31	31	31	31	30	30	30	30	30	30	30	30	364
4歳	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	31	383
5歳	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	384
合計	135	136	137	139	139	138	139	139	139	139	139	136	1655

オ 新川保育園各月初日在籍児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	26
1歳	11	11	11	12	12	13	15	15	14	15	15	14	158
2歳	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	211
3歳	31	31	31	31	31	31	31	30	30	29	29	29	364
4歳	30	30	30	30	30	29	29	28	29	28	28	29	350
5歳	32	32	32	32	32	32	31	31	31	30	30	30	375
合計	123	123	123	124	125	125	127	124	124	122	122	122	1484

(2) 特別保育事業

延長保育等の特別保育事業を実施することにより、就労等の社会的活動と子育て等の家庭活動の両立支援を図るとともに、子育ての負担感を緩和し、安心して子育てが

できるような環境整備を推進しました。

ア 延長保育推進事業

保育時間を延長し、就労等の社会的活動と子育て等の家庭活動の両立支援を図りました。

開園時間 7時30分から19時まで（土曜日 7時30分から18時まで）

イ 障害児保育事業

専任の保育士を配置し、障害児の受入れを実施しました。

専任保育士 荒子保育園3人、西端保育園3人、大浜保育1人、

棚尾保育園2人、新川保育園2人

ウ 0、1、2歳児保育推進事業

低年齢児を積極的に受け入れ、就労等の社会的活動と子育て等の家庭活動の両立支援を図りました。

年間延べ人数 荒子保育園361人、西端保育園533人、大浜保育園451人、
棚尾保育園524人、新川保育園395人

(3) 一時（プチ）保育事業

保護者の勤務時間や勤務形態の多様化、育児疲れ解消、急病等に伴う保育需要に対応するため、西端保育園にて一時（プチ）保育事業を行いました。

令和6年度の延べ利用児童数 903人

7 子育て支援事業

(1) 子育て支援センター運営事業

たなおっこ子育て支援センター（棚尾児童センター内）、とーぶ子育て支援センター（東部児童センター内）、ららくるにしばた子育て支援センター、ここるくっくしんかわ子育て支援センター、あらこ子育て支援センター（荒子保育園内）、にしばた子育て支援センター（西端保育園内）、たなお子育て支援センター（棚尾保育園内）にて、地域の子育て家庭に対する育児支援を行いました。

ア 子育て相談窓口の開設（大浜保育園及び新川保育園を含む。）

月曜日から金曜日まで（午前9時から午前12時及び午後1時から午後3時まで。
祝日を除く。）、家庭における乳幼児の育児に不安のある保護者に対し、電話又は来園による相談窓口を設けました。

たなおっこ子育て支援センター及びとーぶ子育て支援センターについては月曜日

以外の週 6 日、ららくるにしばたについては火曜日以外の週 6 日、こころつくしんかわについては水曜日以外の週 6 日（午前 9 時 30 分から午後 6 時まで）開設しました。

イ 支援センターだよりの発行

子育て支援センター事業の内容を掲載した支援センターだよりを毎月 1 回発行し、広く事業内容の P R を行いました。

ウ 園庭開放の実施

就園前児童とその保護者を対象にして、月曜日から金曜日までのそれぞれ午前 9 時から午後 3 時まで園庭を開放し、親子ふれあいの場として提供しました。

エ 親子交流支援

就園前児童とその保護者を対象にして、各種イベントを開催することにより親子のふれあい、親子間の交流を図りました。

利用実績（延べ人数）

区分	相談	園庭・ルーム開放	親子交流事業
あらこ子育て支援センター	9件	209組（494人）	1,118組（2,529人）
にしばた子育て支援センター	13件	161組（392人）	635組（1,521人）
たなお子育て支援センター	14件	145組（325人）	1,277組（2,728人）
ららくるにしばた子育て支援センター	95件	8,074組（16,976人）	1,221組（2,552人）
こころつくしんかわ子育て支援センター	155件	11,796組（24,981人）	2,267組（4,777人）
たなおっこ子育て支援センター	198件	8,698組（18,385人）	2,506組（5,355人）
とーぶ子育て支援センター	196件	6,183組（13,035人）	1,330組（2,911人）

(2) 児童クラブ運営事業

市との指定管理協定に基づき、7つの児童クラブの適切な施設運営を行うとともに、児童の心身の健全育成に努めました。

ア 開所時間

(ア) 小学校開校日 授業終了後から午後 7 時まで

(イ) 小学校休校日 午前7時30分から午後7時まで（土曜日は、午前8時から午後6時まで）

イ 通所状況 (単位：人)

児童クラブ名	定員	年度当初	増	減	年度末
新川児童クラブ	140	162	37	65	134
中央児童クラブ	140	135	65	93	107
西端児童クラブ	75	68	45	60	53
棚尾児童クラブ	130	142	53	81	114
鷺塚児童クラブ	80	92	29	30	91
大浜児童クラブ	80	92	23	39	76
日進児童クラブ	50	60	19	19	60
合 計	695	751	271	387	635

(3) 児童センター運営事業

市との指定管理協定に基づき、棚尾児童センター及び東部児童センターの適切な施設運営を行うとともに、児童の心身の健全育成に努めました

ア 開館時間 午前9時30分から午後6時まで（月曜休館）

イ 年齢別利用状況（延べ利用者数） (単位：人)

地区	乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	団体	合計	前年
棚尾	9,687	8,698	3,899	220	9	5	22,518	23,157
東部	6,852	6,183	4,054	470	34	31	17,624	16,090

8 地域福祉サービスセンター運営事業

(1) 相談支援事業（特定相談支援事業及び障害児相談支援事業を含む。）

誰もが、いつでも必要な福祉サービスを受けることができるよう、基幹相談支援センター及び碧南ふれあい相談支援事業所を開設し、福祉制度やサービスに関する各種相談、情報提供及び関係機関との連携を図りました。

碧南市地域自立支援協議会作業部会（事業所部会、就労支援部会、こども部会、障害者災害時支援部会及び地域生活支援部会）を運営し、障害者（児）の支援体制の検討や支援ネットワークの充実に努めました。

また、精神に障害がある人等の居場所として「ころころ」を毎週木曜日に開催し、障害児とその保護者支援に関する遊び場・ピアサポートとして「ほっとまんまプロジェクト

エクト」を実施しました。

相談支援事業（障害関係）

() 内は精神障害の相談件数

(単位：件)

相談方法		相談内容（重複あり）
訪問	855(267)	福祉サービスの利用援助 7,382(2,611)
来所	715(241)	障害や病状の理解に関する支援 2,195(817)
同行	98(58)	健康・医療に関する支援 1,002(613)
電話	6,735(2,926)	不安の解消・情緒不安定に関する支援 1,154(882)
メール	113(33)	保育・教育に関する支援 415(14)
個別支援会議	1,100(265)	家族関係・人間関係に関する支援 658(423)
関係機関	607(254)	家計・経済に関する支援 329(234)
その他	2(1)	生活技術に関する支援 416(271)
合計	10,225(4,045)	就労に関する支援 553(281)
		社会参加・余暇活動に関する支援 56(16)
		権利擁護（日常生活自立支援事業を除く。） 60(13)
		その他 99(53)
		合計 14,319(6,228)

(2) 障害者就労相談員設置事業

個々の能力に応じた相談支援を心がけるとともに、相談者が自立した就業生活が送れることができるよう援助を行いました。

ア 開設状況

開所日は月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分とし、就労相談場所を碧南市社会福祉協議会にて実施しました。また、ハローワーク利用の同行や福祉事業所の見学同行、職場定着訪問などを行いました。

イ 相談件数

延べ件数
47件

ウ 職場定着（企業訪問など）

訪問回数
15回

エ 同行訪問など

訪問回数
13回

(3) 被保護者就労支援等事業

ア 被保護者就労支援事業

市福祉課に常駐し、生活保護世帯の中の就労可能な人に、市担当福祉課職員と連携しながら、自立に向けて就労相談や履歴書作成、面接指導、職業訓練支援などの就労支援を、本人が主体的に取り組むように伴走支援を心掛けて実施しました。

支援人数	延べ支援人数	延べ支援回数	実就労開始者数	生活保護停廃止者数
12人	118人	260回	6人	2人

イ 被保護者就労準備支援事業

直ぐに就労することが難しい生活保護受給者に対して、生活状況の改善を促したり、社会経験の機会の提供を提案することにより、就労に対する意欲が向上するよう支援を実施しました。

支援人数	延べ支援人数	延べ支援回数	就労支援事業への移行人数
8人	85人	295回	0人

ウ 子どもの生活・学習支援事業

貧困の連鎖を防止することを目的として、生活保護世帯に属する中学1年生から3年生までの子ども及びその保護者に対し、担任教諭等と連携を図りつつ、学習環境の改善及び学習意欲の向上など、進学に向けた支援を実施できる体制を整備しました。

支援世帯	延べ支援人数	延べ支援回数
0世帯	0人	0回

(4) 日常生活自立支援事業

愛知県社会福祉協議会から委託を受け、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で、自分ひとりで判断することに不安のある方を対象として、福祉サービスを利用する手伝い、日常的な金銭の出し入れの手伝い、大切な書類等の預りなどを行い、地域で安心して自立した生活を送れるように支援しました。

利用者数（令和7年3月31日現在）（ ）内は生活保護受給者数

認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	合計
8件（3件）	14件（2件）	13件（4件）	35件（9件）

(5) 生活困窮者自立相談支援事業

平成27年度から生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業を市から受託し、既存の制度や機関では十分に対応できない生活困窮者を包括的に受止め、本人の尊厳及び意思を尊重しながら、市と連携しどのような支援が必要かを把握して、自立のための支援計画を策定し、適切なサービスや関係機関につなげました。

相談者数	プラン作成件数	プラン作成者のうち就労開始者数
166人	4人	2人

(6) 成年後見支援センター

市から委託を受け、認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者等が地域で安心して暮らせるように成年後見制度等の利用支援を行いました。

ア 成年後見制度に関わる相談・手続き支援

成年後見制度に関する概要説明等の各種相談に応じました。

区分	高齢者	障害者	その他	合計
相談者実数	27人	12人	1人	40人
相談者延数	73人	60人	4人	137人

イ 法人後見業務

他に適切な後見人等が見つからない案件について、法人後見受任を行います。現在、3名の法人後見人を受任しています。

ウ 普及・啓発活動

講演会、勉強会等を開催し、成年後見制度への理解と利用の促進を図ります。令和6年度は、「楽しく学ぼう成年後見制度」と題し、弁護士を講師に迎えた講演会を開催しました。

9 公益事業

(1) 心身障害者福祉センター

ア 地域における身体障害者への福祉サービスとして、創作活動、社会適用訓練、日常生活訓練等のデイサービス事業を行いました。

(単位：人)

講座名	延べ参加人数	講座名	延べ参加人数	講座名	延べ参加人数
陶芸教室	108	盲人卓球教室	284	たのしいデー	79
水泳教室	163	パソコン教室	139		
手話教室(入門編)	110	車椅子ダンス教室	116		
点訳教室	116	卓球教室	184		
ストレッチ教室	43	絵はがき教室	36		
カラオケ教室	124	パン作り教室	40		
いきいきリハビリ テーション教室	129	フラワーアレンジメント教室	81	合 計	1,752

イ 心身障害者（児）団体の指導育成、活動事業

市からの委託事業として、日頃外出する機会の少ない心身障害者（児）に対して、日常生活への適応性、集団生活への順応性を高めるため、次の各事業をボランティアの方々の協力を得て実施しました。

(単位：人)

事 業 名	開催日	場 所	参加者
障害者レクリエーション (身体障害者福祉協会)	5月11日他	清州市他	40
身体障害者社会見学 (身体障害者福祉協会)	6月15日	長野県	40
障害者ふれあいスポーツ大会 (二団体)	9月21日	東部市民プラザ	119
障害者社会見学 (二団体)	11月16日	長野県	78
理事・班長研修会 (身体障害者福祉協会)	11月22日	福祉センター あいくる	15
障害者のつどい（二十歳を祝う会）（二団体）	12月7日	福祉センター あいくる	180 (うち二十歳：7人)
心身障害児親子研修 (手をつなぐ育成会)	1月25日	静岡県	98
手話交流会	2月3日	福祉センター あいくる	10
障害児者卒業生を祝うひなまつり会（手をつなぐ育成会）	2月22日	福祉センター あいくる	127 (うち卒業生：4人)
点訳交流会	3月19日	福祉センター あいくる	9
合 計			716

(2) 地域包括支援センター事業

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、予防対策から高齢者の状態に応じた介護サービスや医療サービスまで、様々なサービスを高齢者の状態の変化に応じて提供するため、地域住民の心身の健康保持及び生活安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するよう努めました。

ア 担当地区

碧南社協地域包括支援センター（社協包括） 新川・西端地区

碧南東部地域包括支援センター（東部包括） 中央・旭地区

イ 予防給付、総合事業等に関するケアマネジメント（要支援・事業対象者）

	相談者数	延べ相談数	来所	電話	訪問	合計
社協包括	333件	3440件	90件	1417件	1933件	3440件
東部包括	402件	2830件	81件	1167件	1582件	2830件

ウ 総合相談支援事業（一般・要介護）

	相談者数	延べ相談数	来所	電話	訪問	合計
社協包括	532件	772件	175件	380件	217件	772件
東部包括	533件	773件	96件	376件	301件	773件

エ 権利擁護業務

地域生活において困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点からの支援に努めました。

高齢者虐待

	通報・相談（うち虐待と判断）
社協包括	12件（10件）
東部包括	9件（9件）

オ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者的心身の状況等の変化に応じた適切な支援を行うため、医療機関を含めた多職種協働による連携体制の構築に努めるとともに、地域の関係機関と相互の連携を図り、高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントに取り組みました。

	延べ相談件数
社協包括	13件
東部包括	56件

カ 個別地域ケア会議

支援困難事例の課題解決を図り、個別ケースの課題分析等を通じて地域における課題を発見し、必要な資源開発や地域づくりを目的として会議を開催しました。

	開催回数
社協包括	10回
東部包括	7回

キ 介護予防事業

介護予防教室、サロン等を開催し、高齢期の生活機能の低下を予防し、高齢者の自発的な介護予防の取り組みを支援しました。

	開催回数
社協包括	23回
東部包括	14回

(3) 碧南市こどもプラザららくるにしばた

市との指定管理協定に基づき、ららくるにしばたの適切な施設運営を行うとともに、児童の心身の健全育成に努めました。

ア 開館時間 午前9時30分から午後6時まで

(有料施設については午後9時まで) (火曜休館)

イ 年齢別利用状況 (延べ利用者数)

(人)

区分	乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	団体	合計	前年
延人数	8,902	8,074	7,373	1,106	1,311	21	26,787	21,433

(4) 碧南市こどもプラザここるつくしんかわ

市との指定管理協定に基づき、ここるつくしんかわの適切な施設運営を行うとともに、児童の心身の健全育成に努めました。

ア 開館時間 午前9時30分から午後6時まで (水曜休館)

イ 年齢別利用状況 (延べ利用者数)

(人)

区分	乳幼児	保護者	小学生	中学生	高校生	団体	合計	前年
延人数	13,185	11,796	5,084	207	6	21	30,299	27,700

(5) へきなん福祉センターあいくる

市との管理委託契約に基づき、へきなん福祉センターあいくるの適切な窓口受付業務を実施しました。

1 0 収益事業

自動販売機の設置やペットボトルお茶の販売等を継続しました。なお、収益事業特別会計収支決算の結果、生じた剰余金（418, 560円）を社会福祉事業へ繰り出しました。

1 1 その他の事業

(1) 各種福祉団体の指導育成事業

福祉団体（碧南市遺族連合会、碧南市赤十字奉仕団、碧南市ボランティア連絡協議会及び碧南市身体障害者福祉協会）の活動事業推進に対して協力及び援助しました。

(2) 日本赤十字社に関する事業

碧南市赤十字奉仕団の活動により、広く一般市民からあたたかい理解と協力を得て、社員の増強と社資募集を推進することができました。

令和6年度 社資募集実績額

ア 個人社資 3, 336件 3, 491, 000円

イ 法人社資 118件 704, 000円

合計 3, 454件 4, 195, 000円

(3) 災害支援金に関する事業

近年、各地で災害が発生しています。多くの支援金をいただき、日本赤十字社を通じて被災地に届けました。

(4) 福祉機器リサイクル事業

譲渡希望新規登録件数 13件

譲受希望新規登録件数 19件 ※成立件数 17件

1 2 理事会、評議員会、監査会開催状況

(1) 理事会開催状況

ア 第1回理事会

(ア) 開催日時 令和6年6月7日（金） 午前10時から

(イ) 開催場所 へきなん福祉センターあいくる デイルーム1

(ウ) 出席理事 7人、出席監事 1人

(エ) 議題

報告第1号 碧南市社会福祉協議会会長及び常務理事の職務執行状況について
議案第1号 碧南市社会福祉協議会顧問の委嘱について
議案第2号 碧南市社会福祉協議会役員候補者の推薦について
議案第3号 碧南市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
議案第4号 碧南市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
議案第5号 碧南市社会福祉協議会資金運用責任者の選任について
議案第6号 碧南市社会福祉協議会令和5年度事業主要成果報告書について
議案第7号 碧南市社会福祉協議会令和5年度収支決算について
議案第8号 碧南市社会福祉協議会令和6年度第1次収支補正予算（案）について
議案第9号 碧南市社会福祉協議会定時評議員会の開催日程等について

イ 理事会（決議の省略）

(ア) 提案日 令和6年6月24日

(イ) 議題

議案第1号 碧南市社会福祉協議会常務理事の選定について

(ウ) 理事会の決議があったものとみなされた日 令和6年7月2日

ウ 理事会（決議の省略）

(ア) 提案日 令和6年7月1日

(イ) 議題

議案第1号 碧南市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について

(ウ) 理事会の決議があったものとみなされた日 令和6年7月9日

エ 第2回理事会

(ア) 開催日時 令和6年12月16日（月） 午後1時30分から

(イ) 開催場所 へきなん福祉センターあいくる デイルーム1

(ウ) 出席理事 10人、出席監事 2人

(エ) 議題

報告第1号 碧南市社会福祉協議会会長及び常務理事の職務執行状況について

報告第2号 第22回碧南市社会福祉大会における社会福祉事業被顕彰者について

議案第 1 号 碧南東部地域包括支援センター運営規程を廃止する等の規程について

議案第 2 号 社会福祉法人碧南市社会福祉協議会給与規則の一部改正について

議案第 3 号 社会福祉法人碧南市社会福祉協議会パートタイム職員就業規則の一部改正について

議案第 4 号 碧南市社会福祉協議会令和 6 年度第 2 次収支補正予算（案）について

議案第 5 号 碧南市社会福祉協議会評議員会の開催日程等について

オ 第 3 回理事会

(ア) 開催日時 令和 7 年 3 月 14 日（金） 午後 1 時 30 分から

(イ) 開催場所 へきなん福祉センターあいくる デイルーム 1

(ウ) 出席理事 10 人、出席監事 2 人

(エ) 議題

議案第 1 号 社会福祉法人碧南市社会福祉協議会公印規程の一部改正について

議案第 2 号 社会福祉法人碧南市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について

議案第 3 号 社会福祉法人碧南市社会福祉協議会パートタイム職員就業規則の一部改正について

議案第 4 号 社会福祉法人碧南市社会福祉協議会給与規則の一部改正について

議案第 5 号 碧南市社会福祉協議会令和 6 年度第 3 次収支補正予算（案）について

議案第 6 号 碧南市社会福祉協議会令和 7 年度事業計画（案）について

議案第 7 号 碧南市社会福祉協議会令和 7 年度収支予算（案）について

議案第 8 号 碧南市社会福祉協議会資金運用計画について

議案第 9 号 碧南市社会福祉協議会基本財産の処分について

議案第 10 号 碧南市社会福祉協議会評議員会の開催日程等について

カ 理事会（決議の省略）

(ア) 提案日 令和 7 年 3 月 26 日

(イ) 議題

議案第 1 号 碧南市社会福祉協議会重要な職員の選任及び解任について

議案第2号　社会福祉法人碧南市社会福祉協議会碧南市成年後見支援センター
運営規程の一部改正について

(ウ) 理事会の決議があつたものとみなされた日 令和7年3月31日

(2) 評議員会開催状況

ア 第1回評議員会

(ア) 開催日時 令和6年6月24日(月) 午後1時30分から

(イ) 開催場所 へきなん福祉センターあいくる デイルーム1

(ウ) 出席評議員 14人

(エ) 議題

議案第1～4号　碧南市社会福祉協議会役員の選任について

議案第5号　碧南市社会福祉協議会令和5年度事業主要成果報告書について

議案第6号　碧南市社会福祉協議会令和5年度収支決算について

議案第7号　碧南市社会福祉協議会令和6年度第1次収支補正予算(案)について

イ 第2回評議員会

(ア) 開催日時 令和6年12月24日(火) 午後1時30分から

(イ) 開催場所 へきなん福祉センターあいくる デイルーム1

(ウ) 出席評議員 15人

(エ) 議題

報告第1号　第22回碧南市社会福祉大会における社会福祉事業被顕彰者について

議案第1号　公益事業(碧南東部地域包括支援センター)の廃止について

議案第2号　碧南市社会福祉協議会令和6年度第2次収支補正予算(案)について

ウ 第3回評議員会

(ア) 開催日時 令和7年3月24日(月) 午後1時30分から

(イ) 開催場所 へきなん福祉センターあいくる デイルーム1

(ウ) 出席評議員 12人

(エ) 議題

議案第1号　碧南市社会福祉協議会令和6年度第3次収支補正予算(案)について

いて

議案第2号 碧南市社会福祉協議会令和7年度事業計画（案）について

議案第3号 碧南市社会福祉協議会令和7年度収支予算（案）について

議案第4号 碧南市社会福祉協議会基本財産の処分について

(3) 監査会開催状況

令和5年度監査会

ア 開催日時 令和6年5月30日（木） 午前10時30分から

イ 開催場所 へきなん福祉センターあいくる 会議室3

ウ 出席監事 2人

エ 監査内容

（ア）令和5年度碧南市社会福祉協議会事業主要成果報告について

（イ）令和5年度碧南市社会福祉協議会収支決算（社会福祉事業、公益事業及び収益事業）について

（ウ）令和5年度会計諸帳簿、令和6年3月31日現在の財産目録及び貸借対照表について

1.3 附属明細書について

事業報告には、社会福祉法施行規則（昭和26年厚生省令第28号）第2条の25第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成できません。